




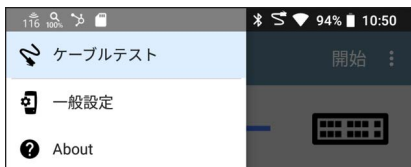
Cable Test App

EtherScope nXGのケーブルテストは、ケーブルの長さや障害ステータスの判断、パッチおよび構造化ケーブルのワイヤーマップの検証、トーンングを使用したケーブル接続の特定に役立ちます。ケーブル・テスト・ポートは、EtherScopeユニットの左側にあるRJ-45ポートです。このポートにケーブルを接続し、トーン機能でテストおよびトレースします。

ケーブルテストの設定

ケーブルテストアプリに影響する唯一の設定は、フィートまたはメートルを指定する距離単位設定です。この設定は、**一般設定**メニューにあります。

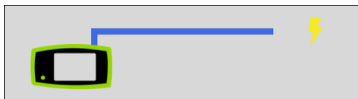
1. 一般設定にアクセスするには、**Cable Test** アプリの画面でメニューアイコン  をタップし、**一般設定**を選択します。



2. 一般設定画面の一番下の**Preferences**までスクロールします。
3. **長さの単位**フィールドをタップし、必要に応じて**フィート**または**メートル**を選択し、**OK**をタップします。

ケーブルテストの実行

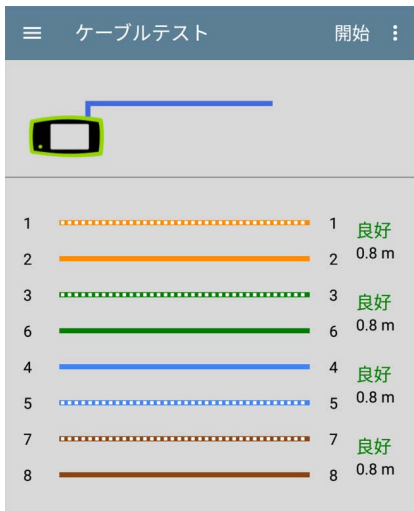
- RJ-45ケーブルテストポート(ユニットの左側)にオープンケーブルまたは終端していないケーブルを接続すると、長さを測定、ショートやスプリットを特定し、オープンを特定することができます。
- WireView Cable ID アクセサリで終端されたケーブルを使用して、ケーブル長を測定し、ショート、オープン、スプリットペア、クロスオーバーケーブル、正常または負のペア極性、シールドケーブルを識別できます。
- EtherScope nXGは、スイッチに接続されているケーブルのケーブルテストを実行することはできませんが、トーニング機能を使用してケーブルを接続ポートまでトレースすることはできます。
- また、接続されたケーブルに電圧が検出された場合、ケーブルテストを実行したり、トーニング機能を使用したりすることはできません。ケーブルテスト画面の稲妻アイコンは、検出された電圧を示します。



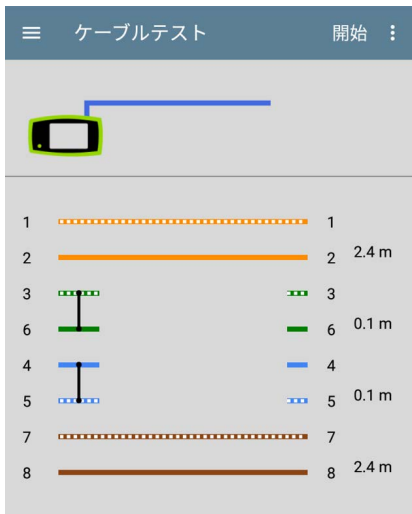
ケーブルテストを開始するには、Cable Testアプリ画面の右上にある**開始**をタップします。

オープンケーブル TDR テスト

EtherScope nXGiは、TDR (Time Domain Reflectometry) を使用してケーブルの電氣的反射を測定することにより、ケーブルの長さを測定し、いくつかの障害を検出することができます。EtherScope ユニットの左側にある RJ-45 ポートにオープンケーブル(終端していない)を接続して長さを測定し、ショート、オープン、またはスプリットを表示します。



ケーブルに障害が検出されない場合、長さ測定の上にある各ペアの横に「**良好**」と表示されます。ケーブルのスプリットまたはオープンを検出したケーブルテストでは、「**オープン**」などの言葉で表示されます。



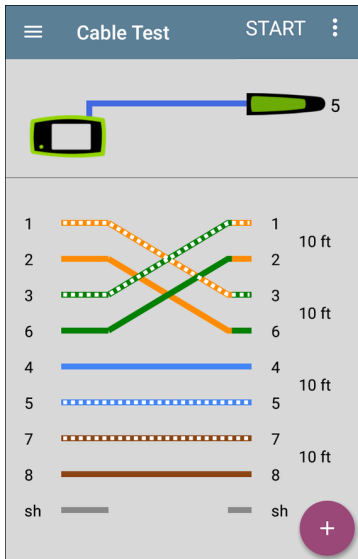
この終端していないケーブルのテスト画像は、ピン3、6と4、5間のショートを示しています。

終端 WireView テスト

WireViewアクセサリを使用すると、より詳細な配線ごとの結果が得られます。WireView #1 は EtherScope nXGに付属しています。追加の WireView #2～6を購入できます。

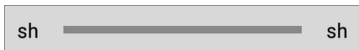
終端ケーブルテストを実行するには、左側の RJ-45ポートを、外部 WireView Cable IDアクセサリで終端されたケーブルに接続します。

終端ケーブルテスト画面には、ケーブル障害により EtherScopeがWireViewを検出できない場合を除き、接続されているWireViewの番号が表示されます。



上の画像は、ペア1、2、3、6とWireViewアクセサリ番号5のクロスオーバーを示しています。

WireViewの結果の最後の行は、ケーブルがシールドされているかどうかを示します。**sh**の間に切れ目のない線がある場合は、シールドケーブルが検出されたことを意味します。



トーン機能

フルークネットワークス* IntelliTone™ プローブ、または任意のアナログプローブとトーン機能を使用してケーブルをトレースすることもできます。



左側のRJ-45ポートにケーブルを接続し、フローティングアクションボタン(FAB)をタップします。

+ メニューからトーン・オプションを選択します。EtherScope nXGがケーブルを通してトーンを発し、プローブがそれを検出することで、ワイヤーをトレースしたり、スイッチ・クローゼット内で位置を特定することができます。



* IntelliTone is a trademark of Fluke Networks.

結果をLink-Liveへアップロード

ケーブルテスト画面の右上にあるアクション・オーバーフロー・アイコン  をタップし、[Link-Liveへアップロード] を選択すると、現在のケーブルテストの結果が Link-Liveの結果ページ  に送信されます。